

## 価値創造プロセス

# 変革を成し遂げ、たんぱく質の価値を共に創る企業へ

### 保有資本

### 企業基盤

#### 財務資本

- 総資産 / 金融資産
- 成長戦略投資: 500 億円
- フリー CF: 473 億円
- D/E レシオ: 0.41

#### 製造資本

- 各事業の生産拠点
- 北海道ボールパークFビレッジ
- 設備投資総額: 441 億円  
(加工事業本部: 94 億円) (食肉事業本部: 253 億円)  
(海外事業本部: 66 億円)  
(ボールパーク事業: 7 億円)

#### 人的資本

- 変革型経営人財育成・開発投資
- 挑戦を評価する仕組み
- 多様な人財

#### 知的資本

- 研究開発費
- 新たんぱく質の研究の知見
- 畜産 GHG の削減研究の知見
- 飼料の研究開発
- エンタメなど新たな製品開発・体験の研究
- 機能性素材製品の開発・研究の知見

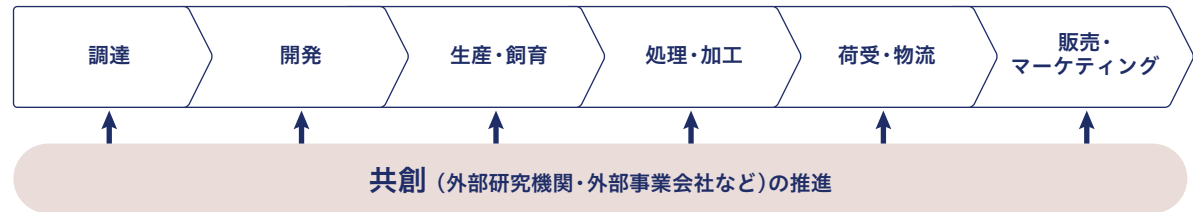
#### 社会・関係資本

- 家畜の疾病対策費用
- アニマルウェルフェア対策費用
- 社外との共創、産学との連携
- 食物アレルギーの研究助成や普及啓発
- 畜産農家の支援(技術サポートなど)
- 国産鶏肉「桜姫®」などのブランド食肉
- 「シャウエッセン®」などのトップシェア商品
- 自治体とのパートナー協定(北海道地域)
- 産官学のさまざまなパートナーとの共創(ボールパーク)

#### 自然資本

- 環境関連対策費用
- たんぱく質(植物・新素材由来)
- 省エネ・省資源の設備(エスコンフィールド、EV 導入 など)
- 生産・製造における水使用
- 家畜(牛、豚、鶏)の生物資産

### たんぱく質の価値を創るバリューチェーンと共創 □ P.029



### 各セグメントの目指す姿 □ P.043~

加工事業本部	食肉事業本部	海外事業本部	ボールパーク事業
さらにマージンを拡大し高付加価値事業へ	過去最高益と資本効率性の向上	加工事業のさらなる飛躍で安定感が増す	スポーツとエンターテインメントを融合した新しい街づくりに貢献 大きな利益成長へ

### コーポレート・ガバナンス

### 外部環境 □ P.030

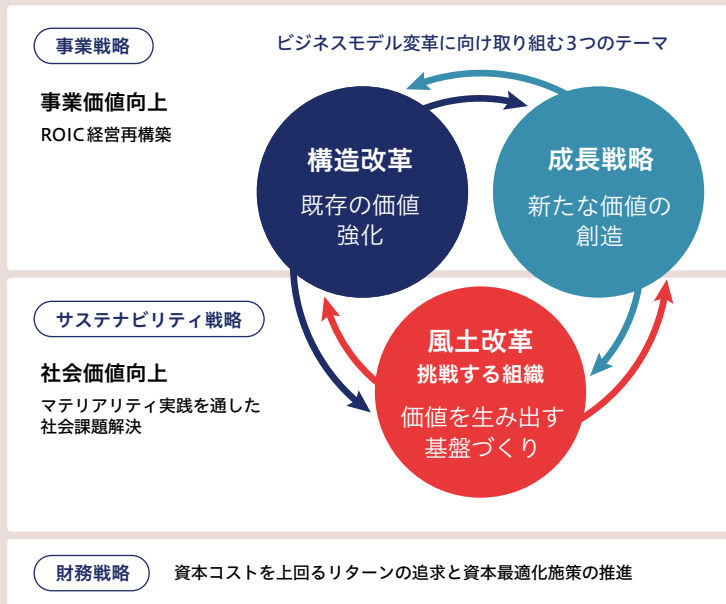
- 世界人口の増加に伴う食肉消費量拡大
- 長引く円安の進行
- 新たんぱく質市場の隆盛
- 日本の人口減少・超高齢化
- Food Tech の進化
- サステナブル意識の高まり
- 畜産での温室効果ガス排出抑制への期待

企業理念: 「食べる喜び」 いのち 生命の恵みを大切に



全社戦略

変革と挑戦を推進する「中期経営計画2026」 □ P.033~



マテリアリティ □ P.031~

- たんぱく質の安定調達・供給
- 食を通じた豊かな生活への貢献
- 持続可能な地球環境への貢献
- 新たな価値の創出
- 挑戦する組織風土の醸成

創出する価値・インパクト

身体に不可欠な  
「たんぱく質」の安定供給

- 畜産の継続により必要な食肉(たんぱく質)を確保
- 食肉の輸入・パートナーとの協働によりたんぱく質を安定調達
- 新しいおいしさを提供する商品を開発
- 代替肉など多様なたんぱく質を研究開発
- 畜産に由来する温室効果ガス排出量を低減

顧客

パートナー

地球環境

地域社会との共創共生

- 北海道を含む地域経済発展に寄与
- 北海道ホールパークFビレッジ各施設のパートナーとの共創によるかつてない街づくり
- 環境負荷を低減する街づくりを推進

顧客

パートナー

地球環境

人的資本の拡充

- 挑戦できる組織風土を醸成
- 従業員の能力・給与の向上により定着率・採用率を拡大
- DE&Iの推進、多様性の追求

従業員

株主資本の維持・拡大

- 収益向上により企業価値を高め株価を向上
- 配当金の維持・向上を実現
- 株主、投資家との建設的な対話

株主・投資家

持続可能な  
社会

Vision2030

たんぱく質を、  
もっと自由に。

人々の楽しく  
健やかな暮らし  
に貢献